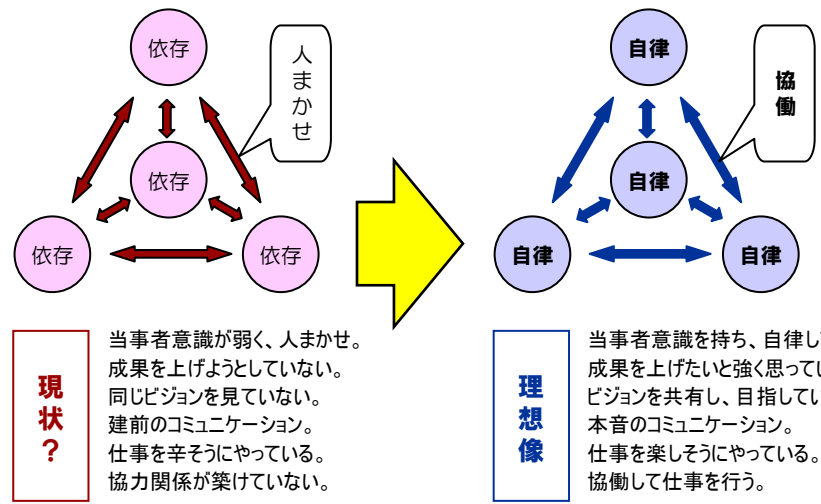




自律する社員 & 協働するチームに。 体験して、身につけます。



人事・採用／教育研修ご担当様 対象

めげない、逃げない、あきらめない ビジネスパーソンを生み出すための

体感から学ぶ 新人・内定者向け研修

無料体験セミナー

来年度の採用活動も一段落し、そろそろ来年の新人・内定者教育をご検討されている時期とご推察いたします。

来たる7月2日木曜日に、人材開発・教育をご提供しているレゾナンスファイブでは、新人・内定者向け研修の無料体験セミナーを開催いたします。

インプロ(即興演劇)やアドベンチャーラーニングなど、体感型のアクティビティを用い、体験して「身につく」研修となっております。今回、人事・採用／教育のご担当様を対象に無料での開催となりますので、ぜひご体験くださいませ。

開催概要

- 対象** : 人事・採用／教育研修ご担当様 **参加料** : 無料
(※ご同業様、および個人の方のご参加はご遠慮頂いております。予めご了承下さい。)
- 日時** : 2009年 7月 2日(木) 13:45受付開始 14:00～16:30
- 会場** : あうるすぽっと (有楽町線東池袋駅直結 <http://www.owlspot.jp/access/>)
- 定員** : 20名 (1社につき最大2名様までご参加戴けます。定員に達した場合は締め切らせていただきます。)
- お申し込み／お問い合わせ** : Eメールにて、件名を「無料体験セミナー」とお書きいただき、
①御社名 ②御部署名 ③御名前 ④電話番号 ⑤ご参加人数 をご明記の上、

info@resonance5.com

まで お願いいたします。

主催 : レゾナンスファイブ有限責任事業組合 <http://resonance5.com/>
〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-10-3 TEL & FAX 03-5879-2239

「組織に、そこで働く人々に、最大限の成果と喜びを！」をモットーに2008年春に立ち上がった、組織・人材開発チーム。メンバー全員がコーチング、リーダーシップ等のノウハウを共有しており、さらに体験型の研修ファシリテーターとしても実績を持つ。それぞれの人事、営業、企画、マーケティング、出版等のバックボーンを活かし、日本中の組織と働く人々に成果と喜びを感じてもらうために日々活動を行っている。

● 研修の手法 アドベンチャーラーニングについて

アクティビティ(ゲームや体験)を行うことにより、日常での行い、ふるまいを再現します。
アクティビティ体験後に、そのときに起きた出来事を振り返ることにより、日常での自分たちの行い、ふるまいを客観的に把握します。
その気づきをベースに、日常での行い、ふるまいにどう生かしていけるのか手がかりをつかみます。
集団を組織すること／人間関係を築くこと(チームビルディング、リレーションシップ)、および個人の強みを活かすこと(リーダーシップ)等に効果があります。

● アクティビティ例：「ペーパータワー」

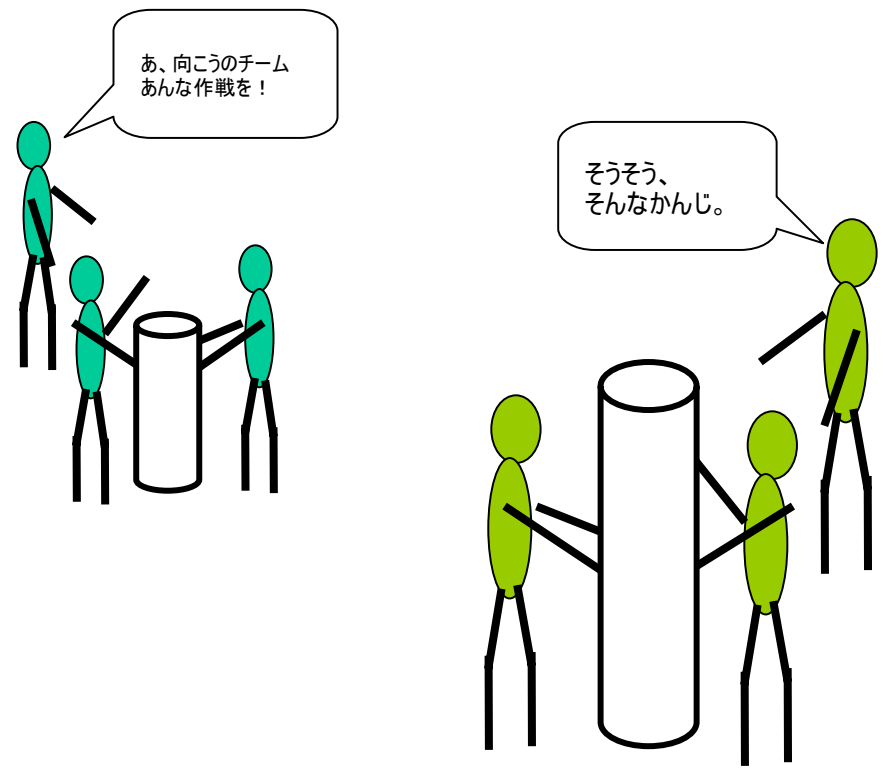
● やりかた

新聞紙のみを使って、自立するタワーを作ります。
数人のチームをいくつか作り、チーム対抗で高さを競います。
はじめに15分程度、作戦会議の時間を与えます。
その後、10分程度の時間制限を設けて、一斉に作り始めます。
制限時間終了時に、一番高いタワーを作れたチームが勝ちです。

● 振り返りの観点

- ・ 自分は当事者意識を持って、ことにあたれたか。
 - ・ 自分は目標を分かっていたか。
 - ・ チームメンバーはどうだったか。
 - ・ 楽しかったか、つまらなかったか、それはどうしてか。
- など。

「勝った／負けた」は問題ではありません。
自分がどのようなスタンスでいたか、どのようにチームに関わったか、など
学んでほしい観点から、十分に振り返りを行います。



● 研修の手法 インプロについて

インプロにおいて、俳優の訓練のために開発された様々なゲーム(インプロゲーム)を用います。

インプロとは、即興演劇のことです。Improvisation(即興)が語源になっています。

日常の仕事には、通常、台本も事前打合せも存在しないことが多いので、即興力を鍛えることは、すなわち仕事力を鍛えることになります。

具体的には、コミュニケーション力、状況対応力、他者と協力すること、自分を信頼すること、等に効果があります。

● エクササイズ例：「私は木です」

● やりかた

数人で行います。

まずどなたか(仮にAさん)が、例えば「私は木です」と言って、木になります。

それを見て、次のどなたか(仮にBさん)が、木にふさわしい何か(仮に「りんご」とします)をイメージし、「私はりんごです」と言いながら、Aさんが行っている木の枝付近にぶら下がるように寄り添います。

それを見て、次のどなたか(仮にCさん)が、その状況にふさわしい何か(仮に「りんごをついばみにきた鳥」とします)をイメージし、

「私はりんごをついばみにきた鳥です」と言いながら、Bさんが行っているりんごをついばむゼスチャーをします。

そのようにして、全員でひとつの風景を作っていきます。

● 振り返りの観点

- ・ 相手や状況を、よく見ることができたか。
- ・ 相手や状況を、拒絶せずにうまく受け入れることができたか。
- ・ 躊躇なく、相手や状況に関わることができたか。

など。

